

2022年12月期 第2四半期 個人投資家向け決算説明会

YCP Holdings (Global) Limited
2022年8月22日





アジェンダ

はじめに

各事業のご紹介：マネジメントサービス事業

各事業のご紹介：プリンシパル投資事業

2022年12月期 第2四半期 全社業績

FY2022通期 通期業績予想

質疑応答

はじめに





自己紹介



石田 裕樹 取締役兼グループCEO

- コーネル大学 工学部 卒業
- 東京大学大学院工学系研究科 修了
- 2006年、ゴールドマン・サックス証券株式会社入社。戦略投資部、マーチャント・バンキング部門 (REPIA及びPIA) において、債券・不動産・未公開株式への投資と、企業再生実務を担当
- 2011年に当社グループを創業
- 2014年、ホールディング化に伴い、当社グループの取締役兼グループCEOに就任



当社グループの歩み

2022年 春期スクラム
(東京)



2019年 春期スクラム
(ミャンマー)



2018年 Solidiance社と経営統合



2012年 戦略会議にて
海外進出方針を決定



2011年 創業初期



2019年 東南アジア地域のオフサイト



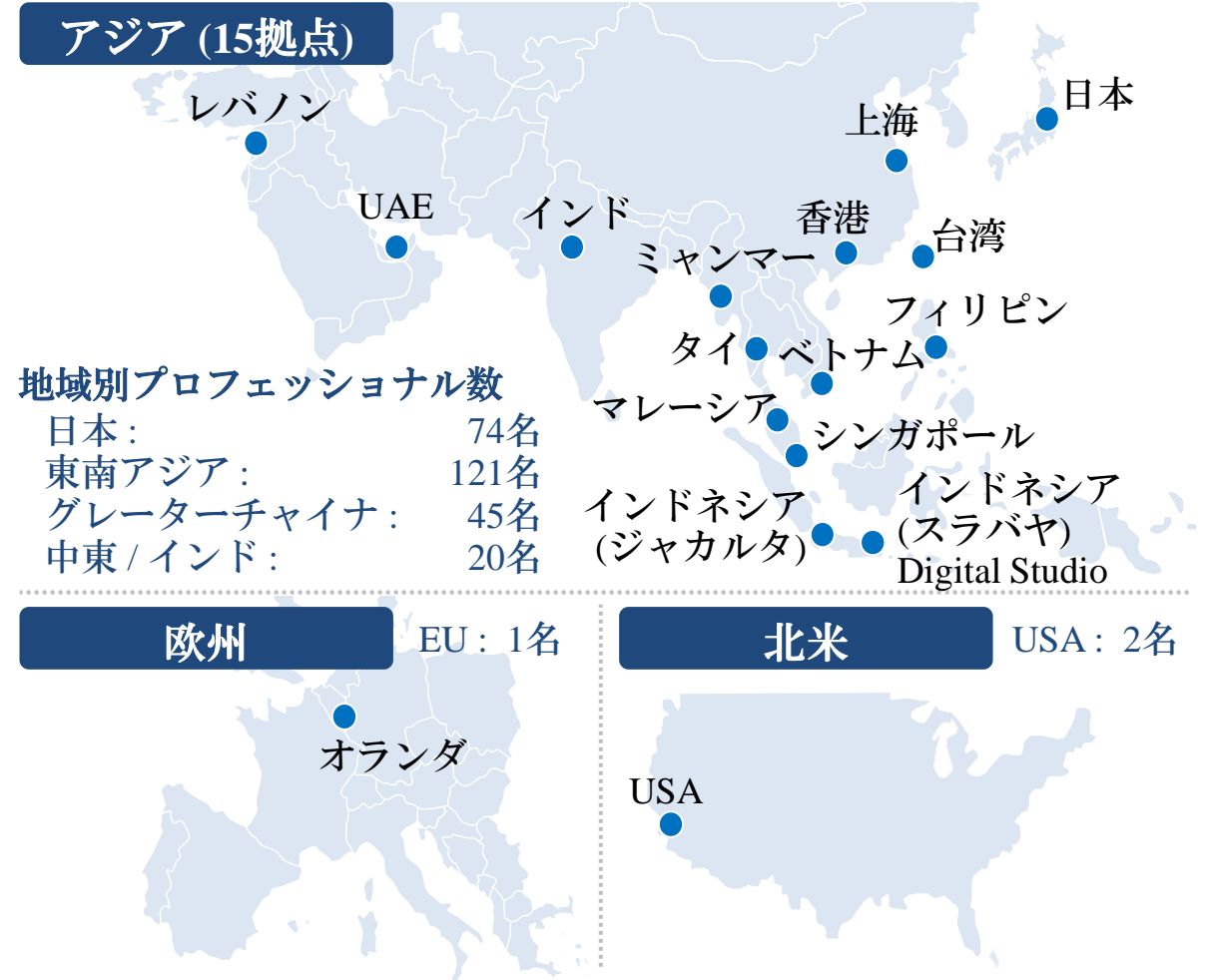


会社概要

YCPグループ概要

持株会社商号	YCP Holdings (Global) Limited
持株会社住所	3 Fraser Street, DUO Tower #05-21, Singapore
グループ事業	1. マネジメントサービス事業 2. プリンシパル投資事業
グループ設立	2011年8月
持株会社資本金	35,422,430米ドル
グループ代表者	石田 裕樹
グループ社員数	プロフェッショナル数: 258名 投資先を含む総社員数: 437名

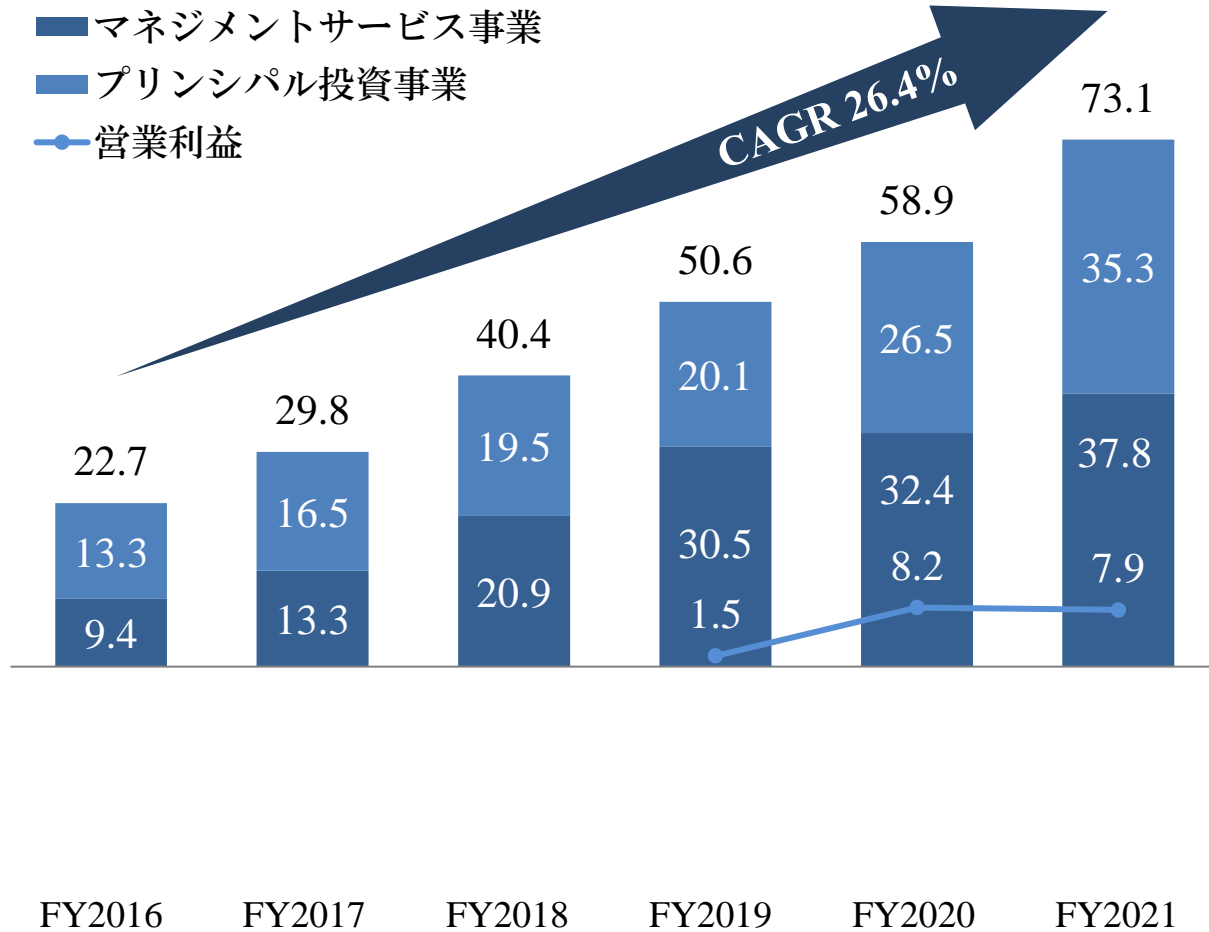
グローバル拠点



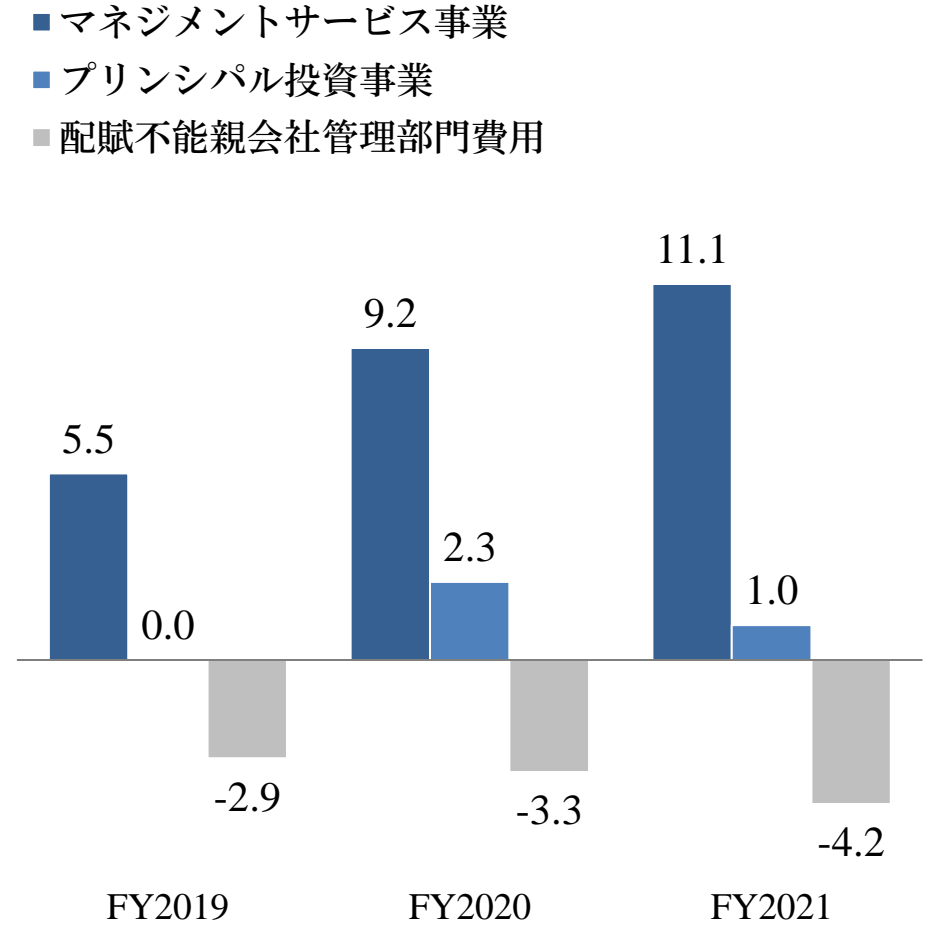


創業10年で売上99.9億円*、営業利益10.8億円*を達成

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



セグメント損益推移 (百万米ドル)



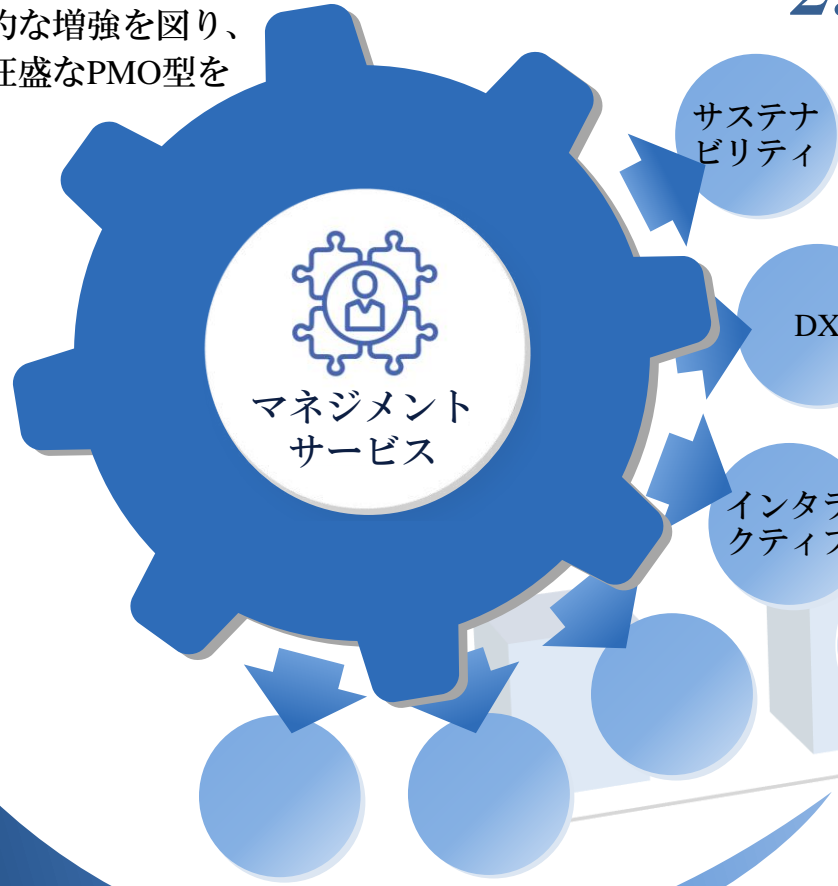
* 日本円への換算は、1ドル = 136.69円 (2022年6月30日の為替レート) により計算



グループ全体の成長戦略

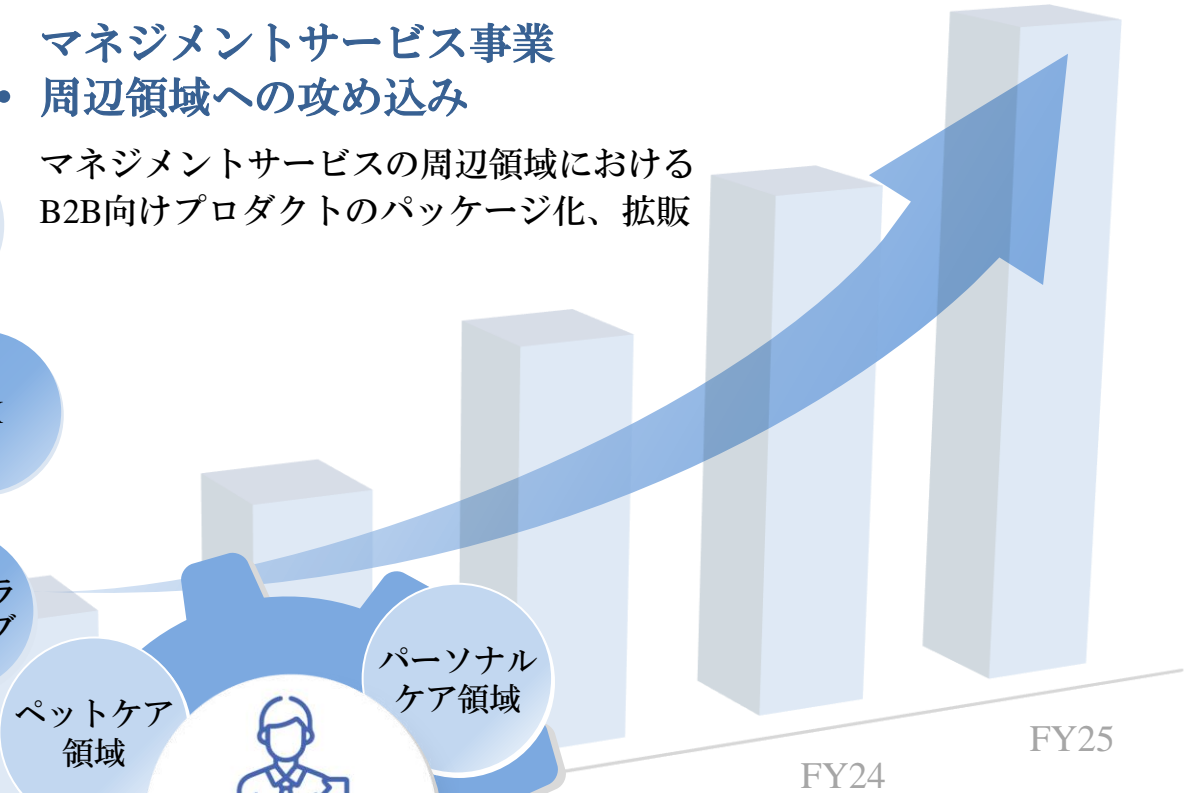
1. マネジメントサービス事業の オーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、
国内外で需要の旺盛なPMO型を
継続的に獲得



2. マネジメントサービス事業 周辺領域への攻め込み

マネジメントサービスの周辺領域における
B2B向けプロダクトのパッケージ化、拡販



3. プリンシパル投資事業による グループの成長加速

既存事業の強化に加え、DXやM&Aという
観点で、アジア全域を対象とした積極的な
新規投資シーズの発掘

各事業のご紹介： マネジメントサービス事業



マネジメントサービス事業のご紹介

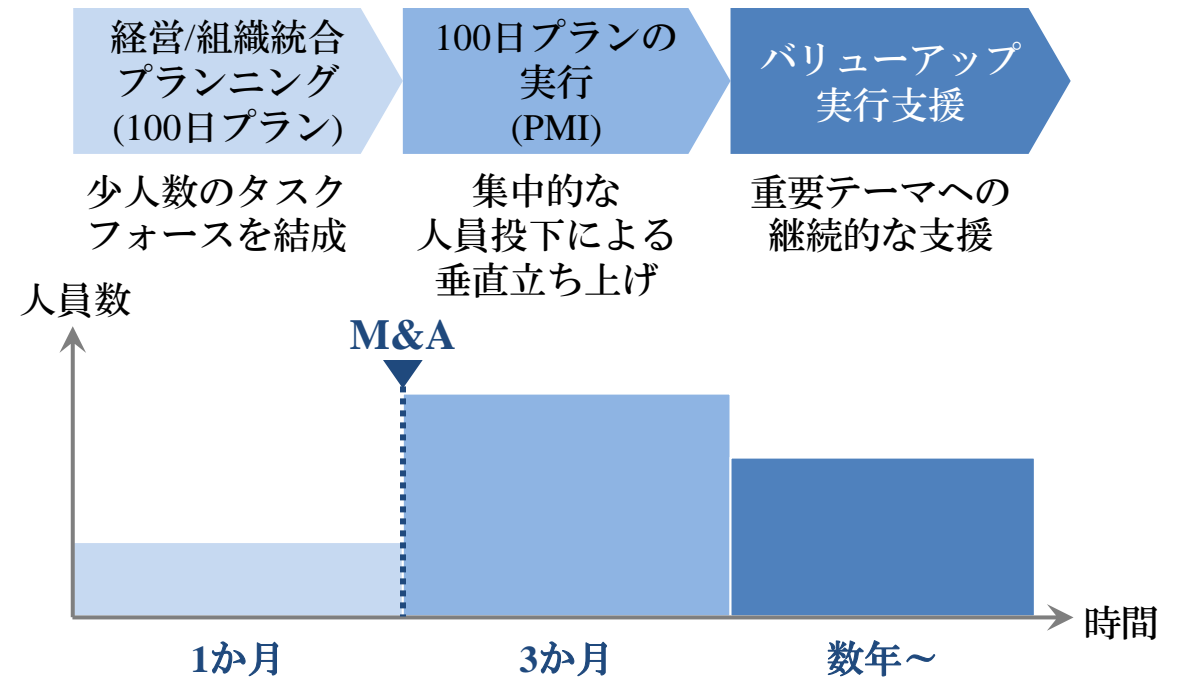
YCP Solidianceのブランドで展開するマネジメントサービス事業では、M&AやDX導入をテーマにした現場常駐型 (PMO型) の経営支援サービスをアジア全域で提供し、事業部売上の約8割を占める

PMO (Project Management Office) とは



M&AやDX導入など大きな企業変革を伴う際に、部門を横断して柔軟に実行支援をサポートする特務組織

M&AにおけるPMO支援のイメージ



M&A実行の1か月前から支援を開始し、PMOとして長期に渡って常駐型での支援を継続

マネジメントサービス事業：第2四半期業績



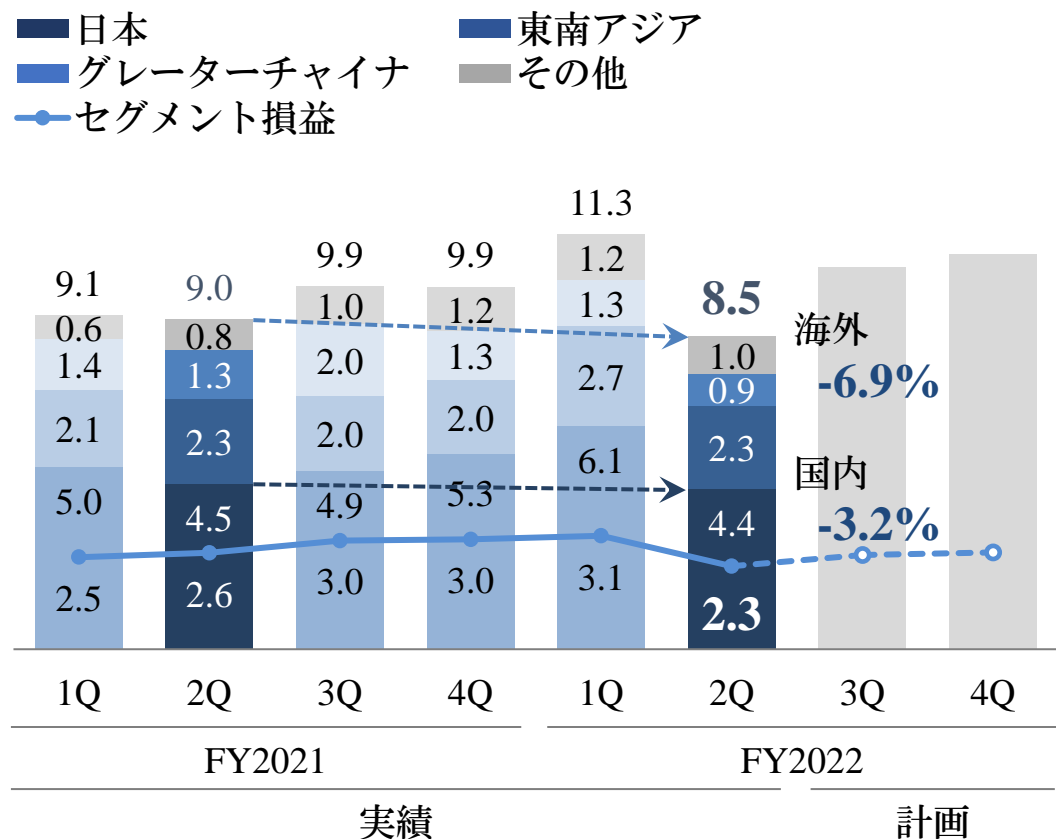
YCP Solidiance



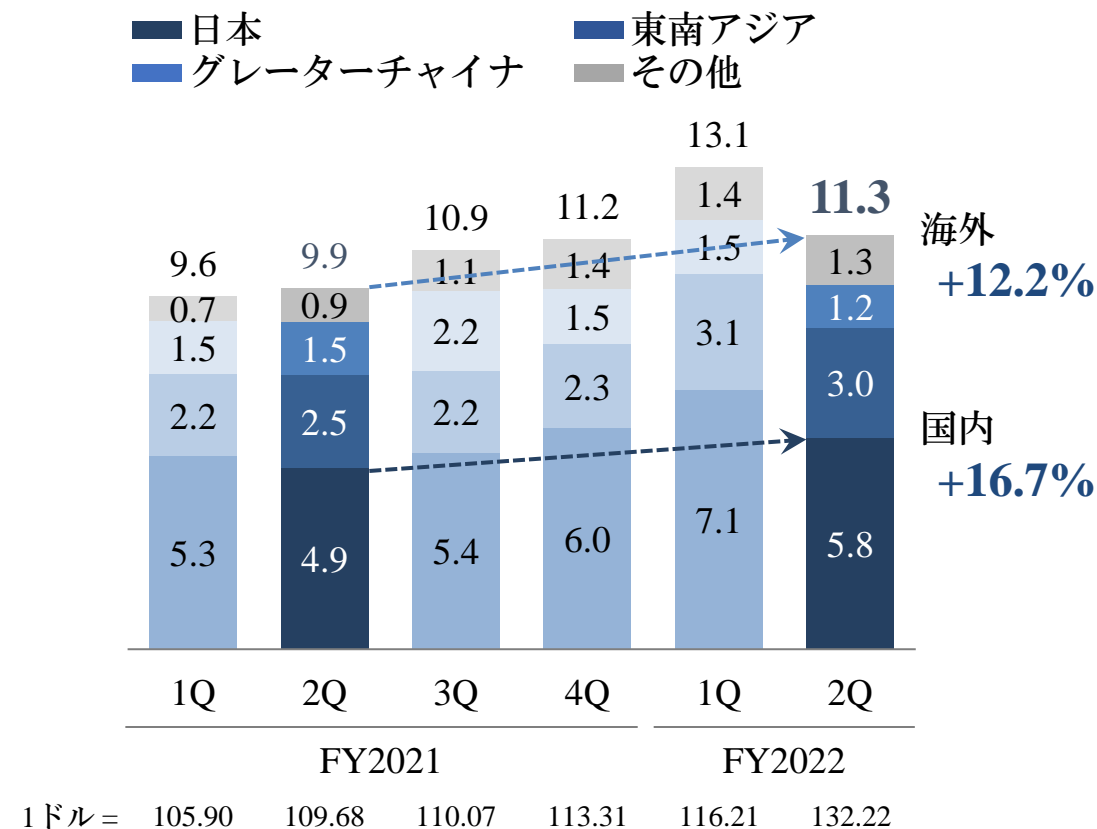
国内は、米ドル高の影響を排した現地通貨ベースでは増収となり事業拡大は継続

海外は、上海市におけるロックダウンの影響を受けたグレーターチャイナ地域で減収

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 日本円ベースでの地域別売上収益推移 (億円)



各事業のご紹介： プリンシパル投資事業





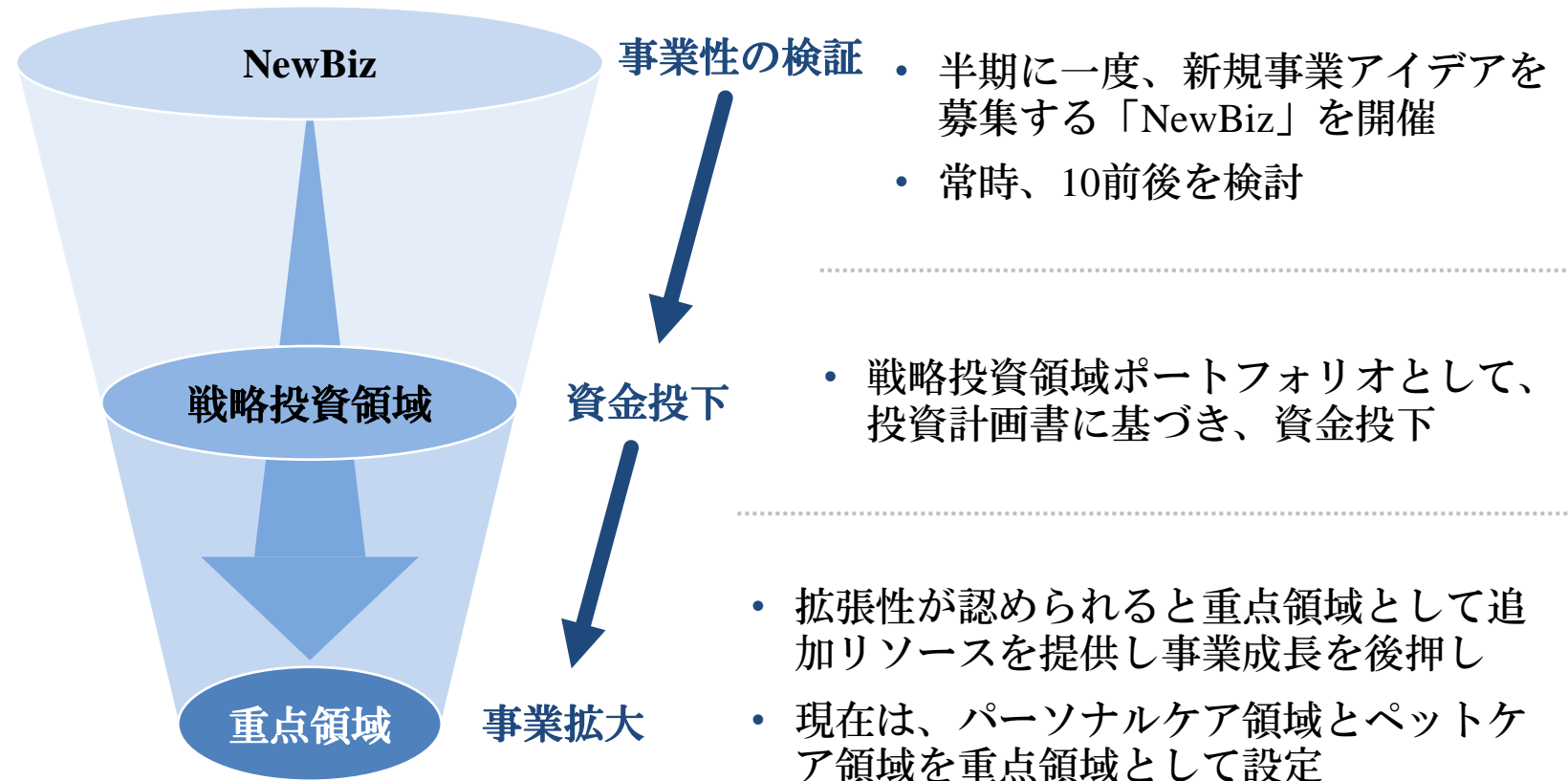
プリンシパル投資とは

マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小 / 新興企業に対して自己資金を投下

投資要件

1. 売上100百万米ドル以上の事業規模が見込まれる
2. グローバル展開が可能
3. 投資規模が借入を含めて20百万米ドル以下
4. 30%以上のIRR (内部収益率)
5. 「Strive for Growth」を実現できる良い学びの機会

プリンシパル投資事業の立ち上げから拡大までの流れ



パーソナルケア領域のご紹介

パーソナルケア商材をアジア全域で展開。オンラインで直接販売を行うD2Cモデルを採用し、当社のグローバルプラットフォームを活かし、海外へも積極展開

主要ブランド



事業戦略



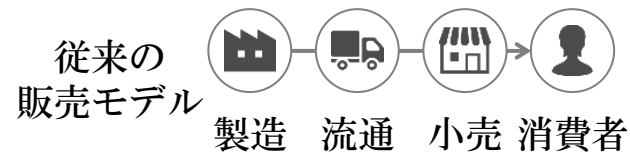
DX



クロスボーダー



SOLIAのD2Cモデル



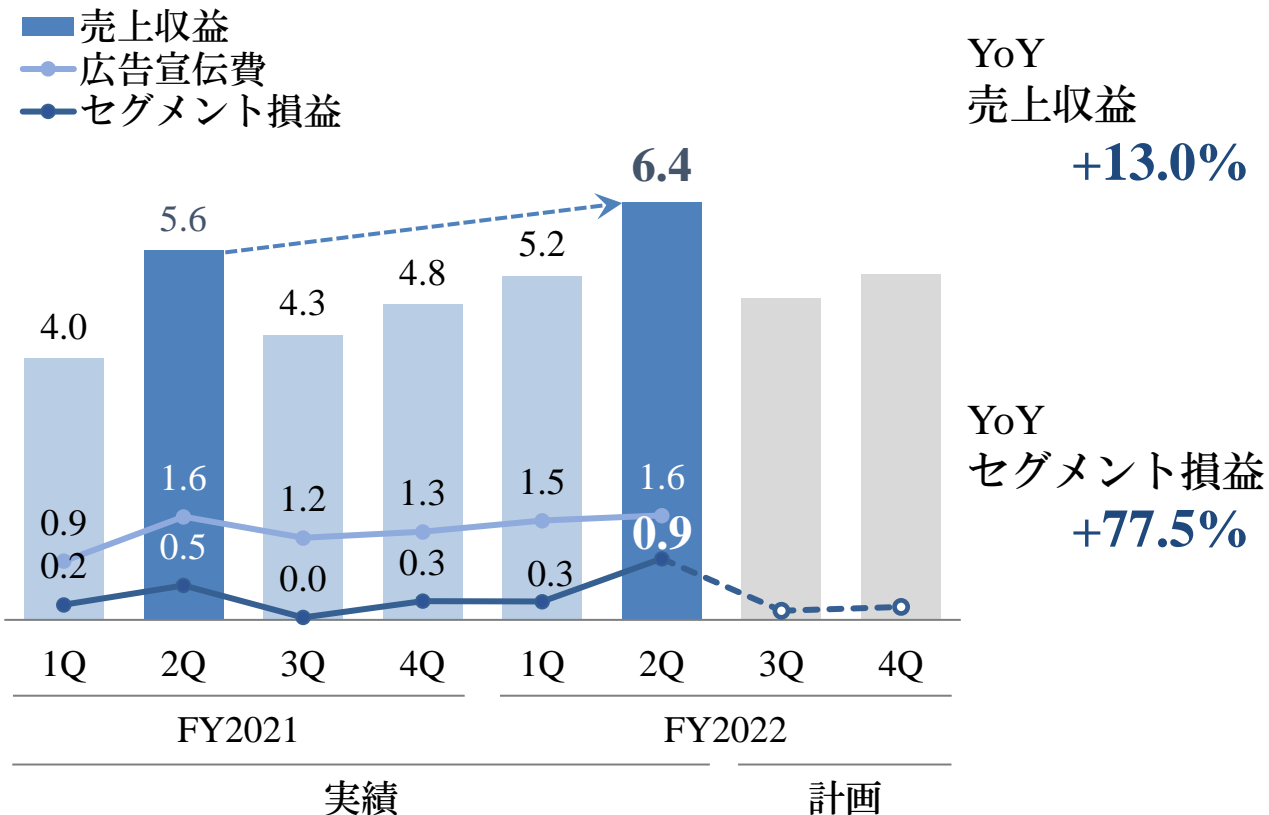
ALOBABYの海外展開の経緯



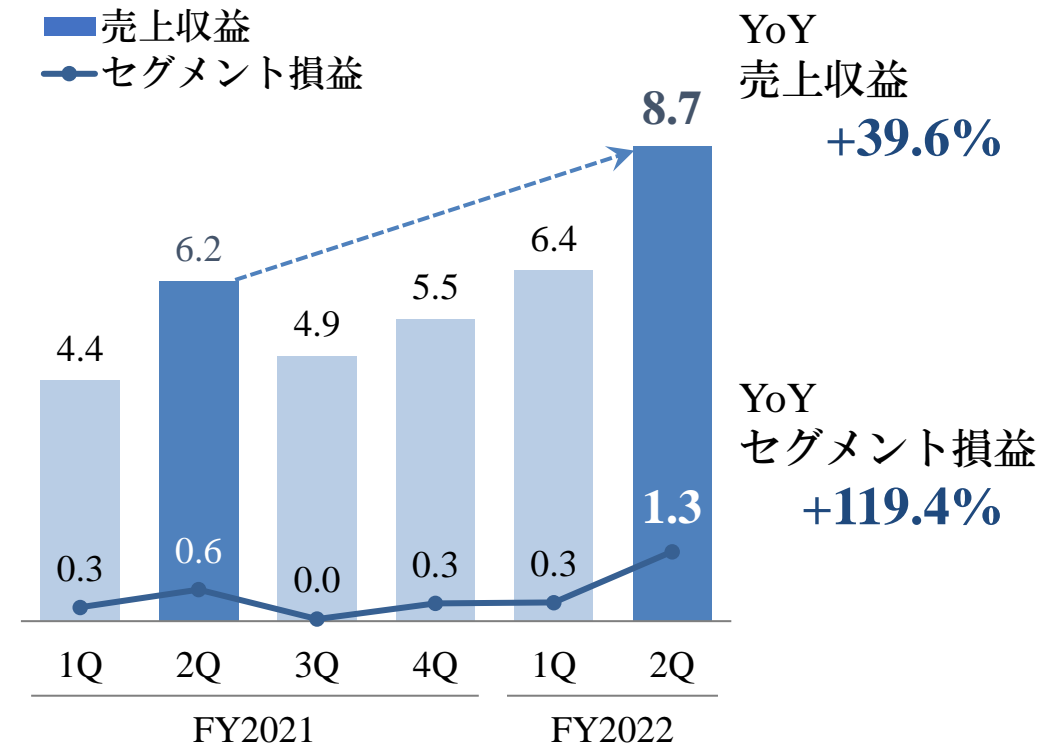
パーソナルケア領域：第2四半期業績

「ALOBABY」に加え、「AMBiQUE」など新ブランドも順調に拡大し、大幅な増収・増益を実現

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 日本円ベースでの業績推移 (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点における当時の為替レートを使用

ペットケア領域のご紹介

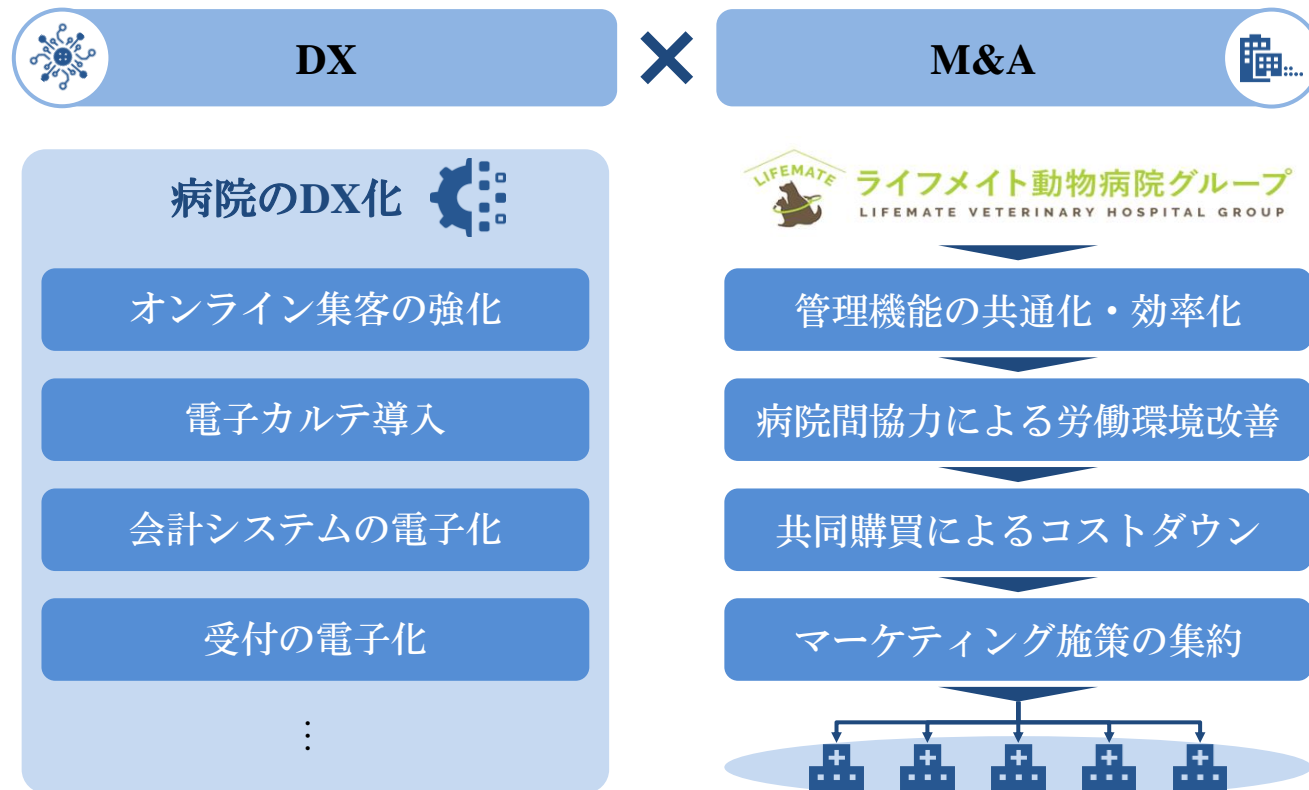
事業承継による複数動物病院のグループ化、および承継先病院のDX化を通じて事業をスケール

動物病院の運営



現在は、関東及び北海道において9病院を運営。常時複数のM&A案件を検討している

事業戦略



大型動物病院の事業承継

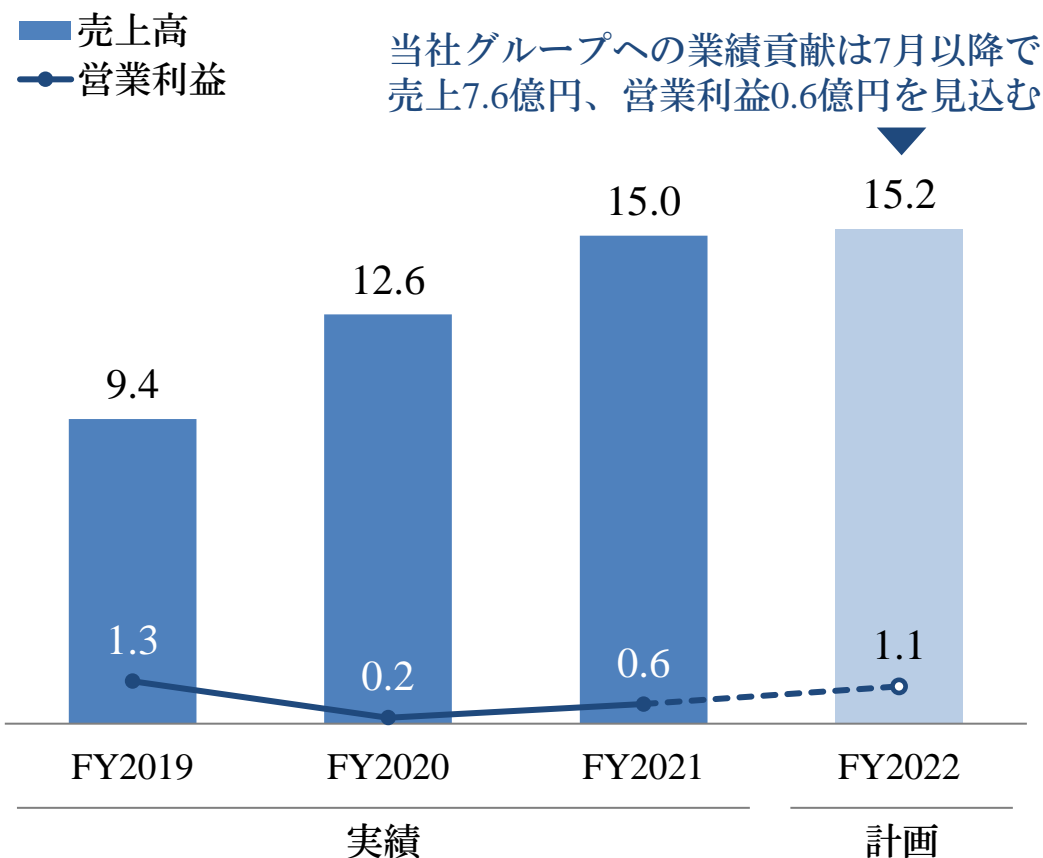
2022年7月に、売上15億円 (2021年通期) の大型動物病院グループを株式会社アニマルメディカより承継

(株)アニマルメディカの事業内容



練馬、文京、府中、八王子と東京都内で4病院を運営。緊急手術対応や、CT・MRI・ICU装置など最新の医療設備を備え、動物向けの高度医療である二次診療を提供する

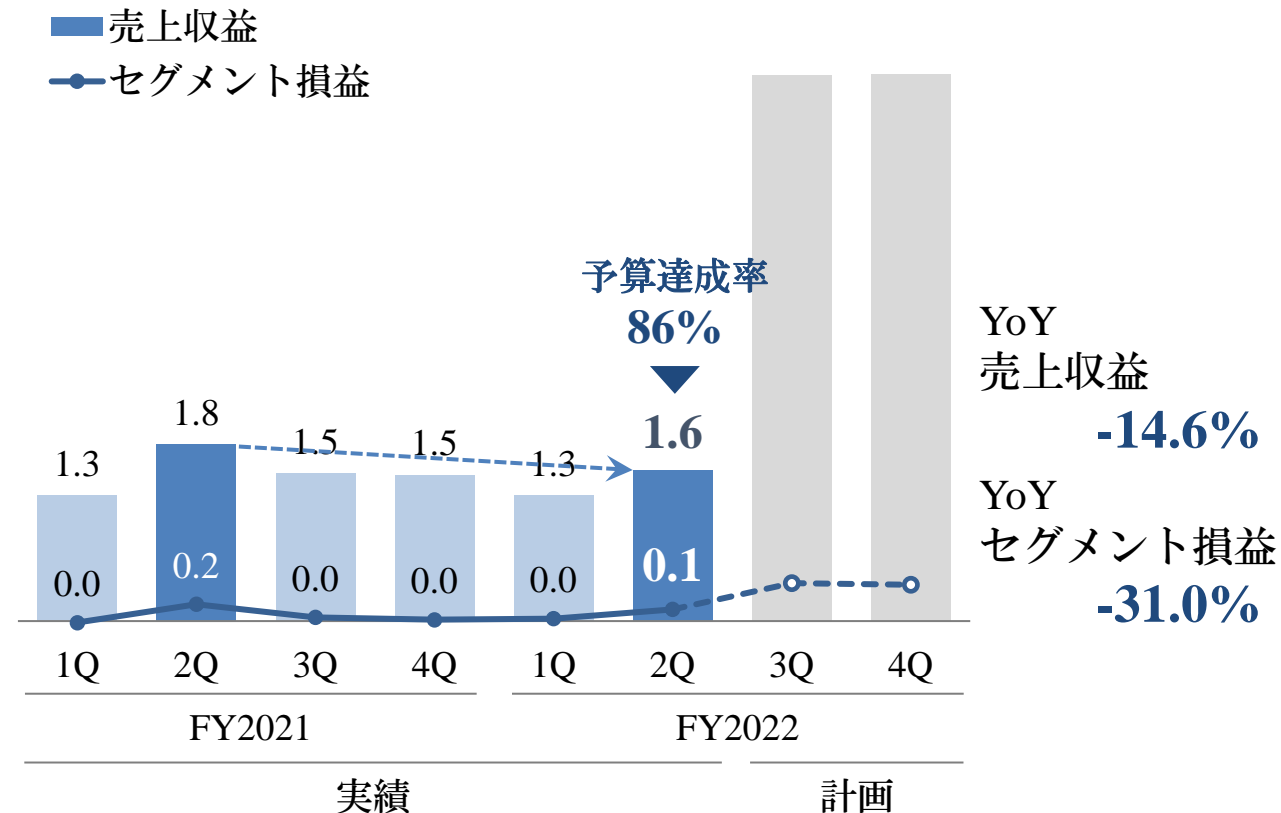
(株)アニマルメディカの業績推移 (億円)



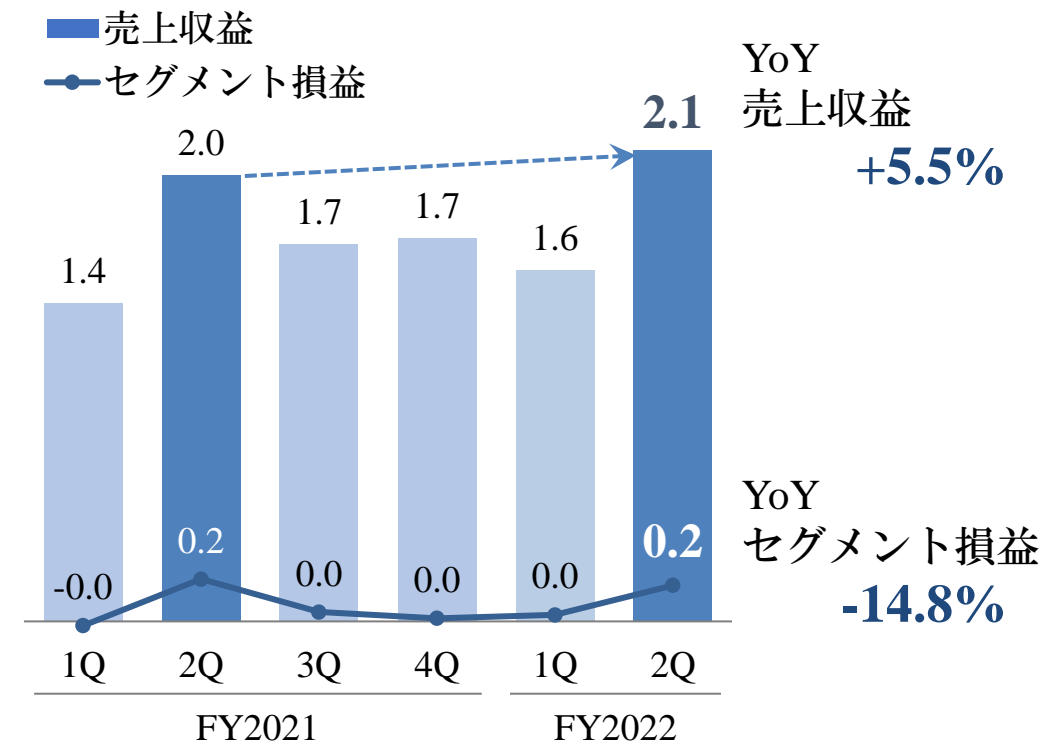
ペットケア領域：第2四半期業績

現地通貨ベースではYoYで増収となったものの、一過性の棚卸資産に関する評価損 (-0.06百万米ドル) が発生した影響で減益。前頁のアニマルメディカ承継により、下期以降は大幅な業績改善を見込む

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 日本円ベースでの業績推移 (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点における当時の為替レートを使用



戦略投資領域のご紹介

将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対しても、戦略投資領域として積極的に投資を実行。
主には、シンガポール及び香港における日本食レストランや、シニア向けサービス等を展開

飲食領域



GO Food



「食を通じて、世界中の人々により多くの笑顔届けたい」という
ミッションのもと、調理プロセスの最適化、徹底的なオペレーション
の効率化を行い、ハイクオリティな日本食ブランドを海外へ展開

シニア領域



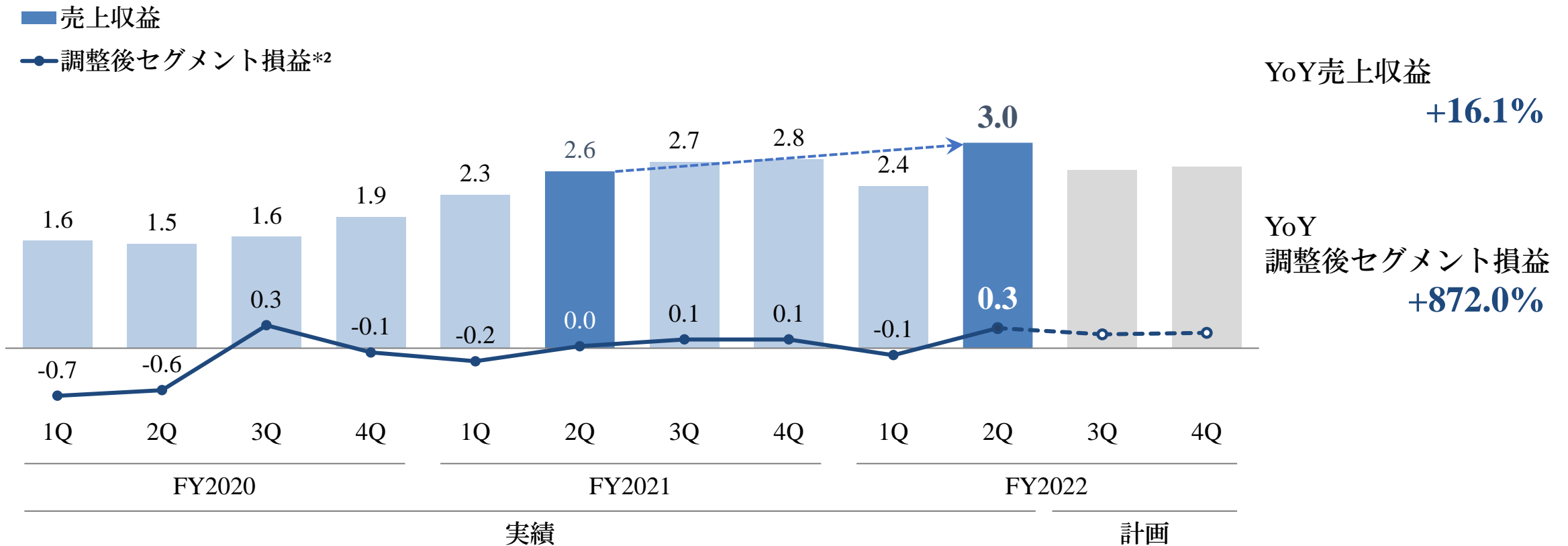
管理不要・後継者不要・宗派不問
の自動搬送式納骨堂の販売事業を
展開



戦略投資領域：第2四半期業績

新型コロナの影響が軽減したことで飲食事業の業績が大幅に改善し、売上収益は+16.1%の増収。保有株式の評価損 (-0.8百万米ドル) 等の影響を除外した調整後セグメント損益ではYoY+872.0%の大幅な増益

業績推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル=136.69円(2022年6月30日の為替レート)により計算

*2: 調整後セグメント損益=子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得など、本業以外の活動による一過性の非資金取引を除外したセグメント損益

2022年12月期 第2四半期 全社業績

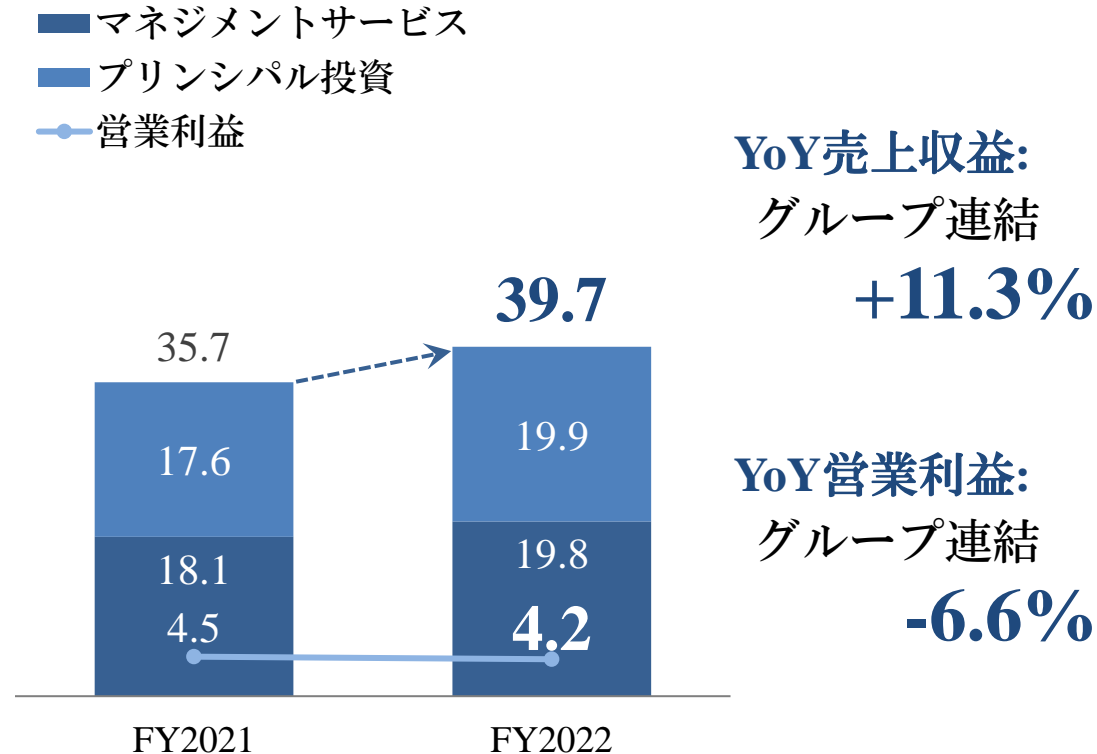




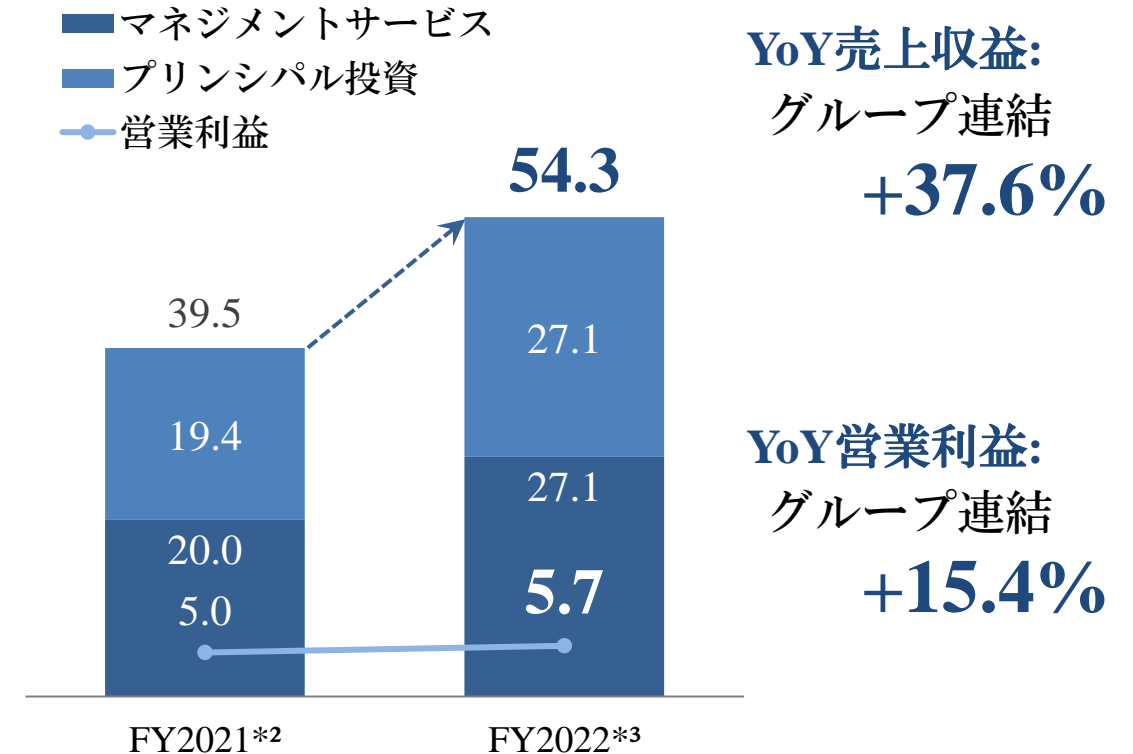
2022年12月期 第2四半期 全社業績

FY2022上期は、売上収益は+11.3%の増収。営業利益は、保有しているアイペットホールディングス株式の評価損(-1.0百万米ドル)の影響が大きく減益となった

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 日本円ベースでの業績推移 (億円)



*1: 2021年6月30日の為替レート(1ドル=110.61円)を使用した前年度の円貨ベースでの業績

*2: 2022年6月30日の為替レート(1ドル=136.69円)を使用した今年度の円貨ベースでの業績

2022年12月期 通期業績予想

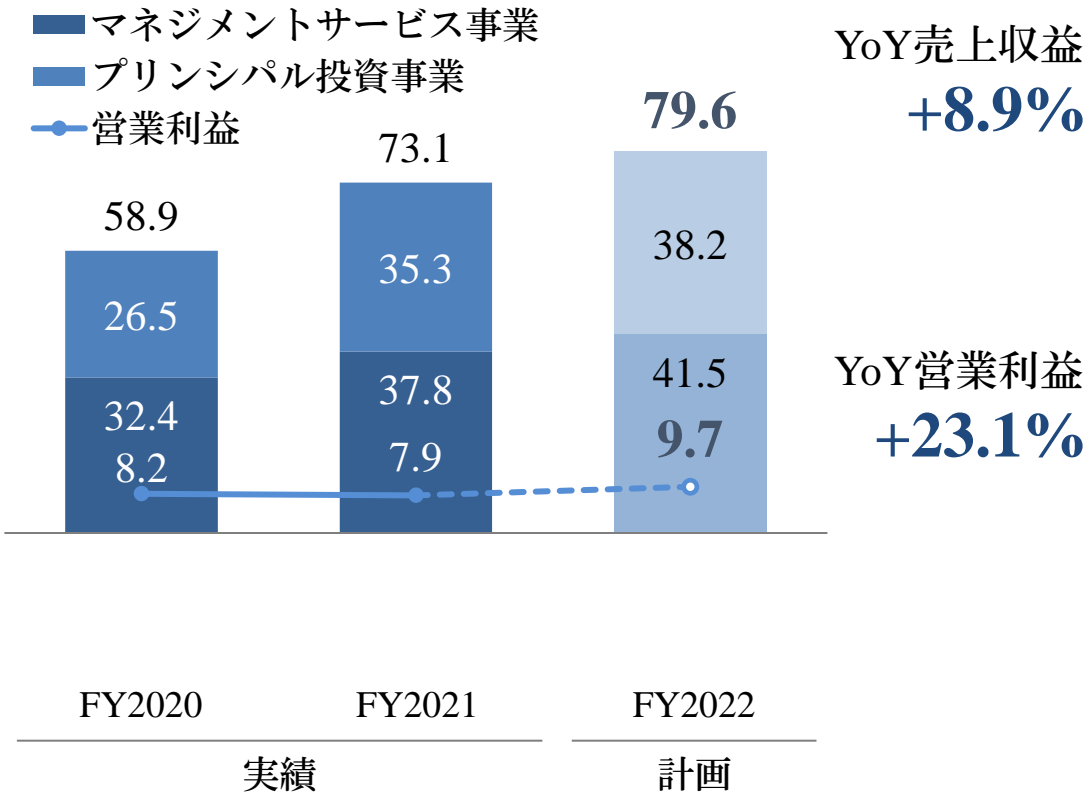




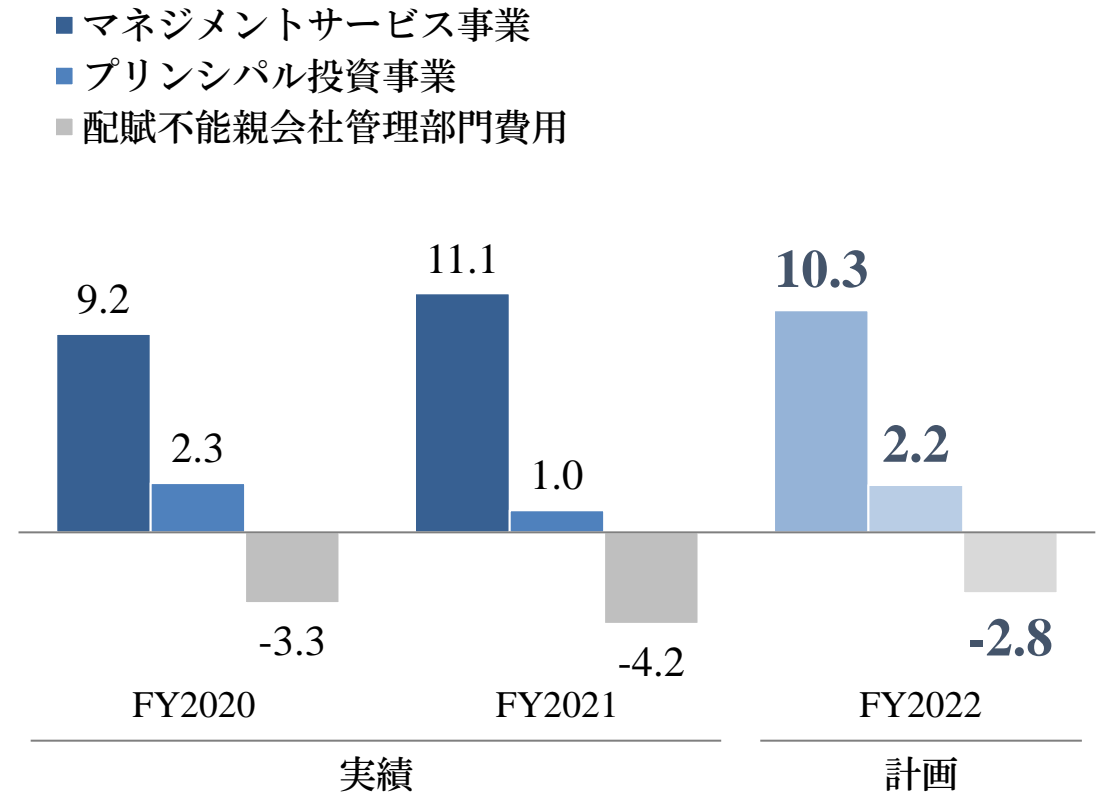
2022年12月期 通期業績予想

急激な円安の影響は大きいものの、新たに承継した動物病院事業 (アニマルメディカ) による増収なども含め、米ドルベースでの期初業績予想を維持

売上収益・営業利益 (百万米ドル)



セグメント損益 (百万米ドル)



*日本円への換算は、1ドル = 109.70円 (当初計画作成時点の為替レート) により計算

質疑応答





IRニュースレターのご案内

当社グループの最新IR情報をお届けいたします。

ぜひ、当社ホームページ (<https://ycp.com/ja>) の「IRトップ」ページから
ご登録ください。

IRトップページへのURLリンク：

<https://ycp.com/ja/investor-relations/ir-top>

IRニュースレターのご購読はこちらから

YCP Holdingsの投資家向けレポートや最新情報をお届けします。

氏名

メールアドレス

購読する →

当社グループは、個人情報の保護に配慮しています。詳細は[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

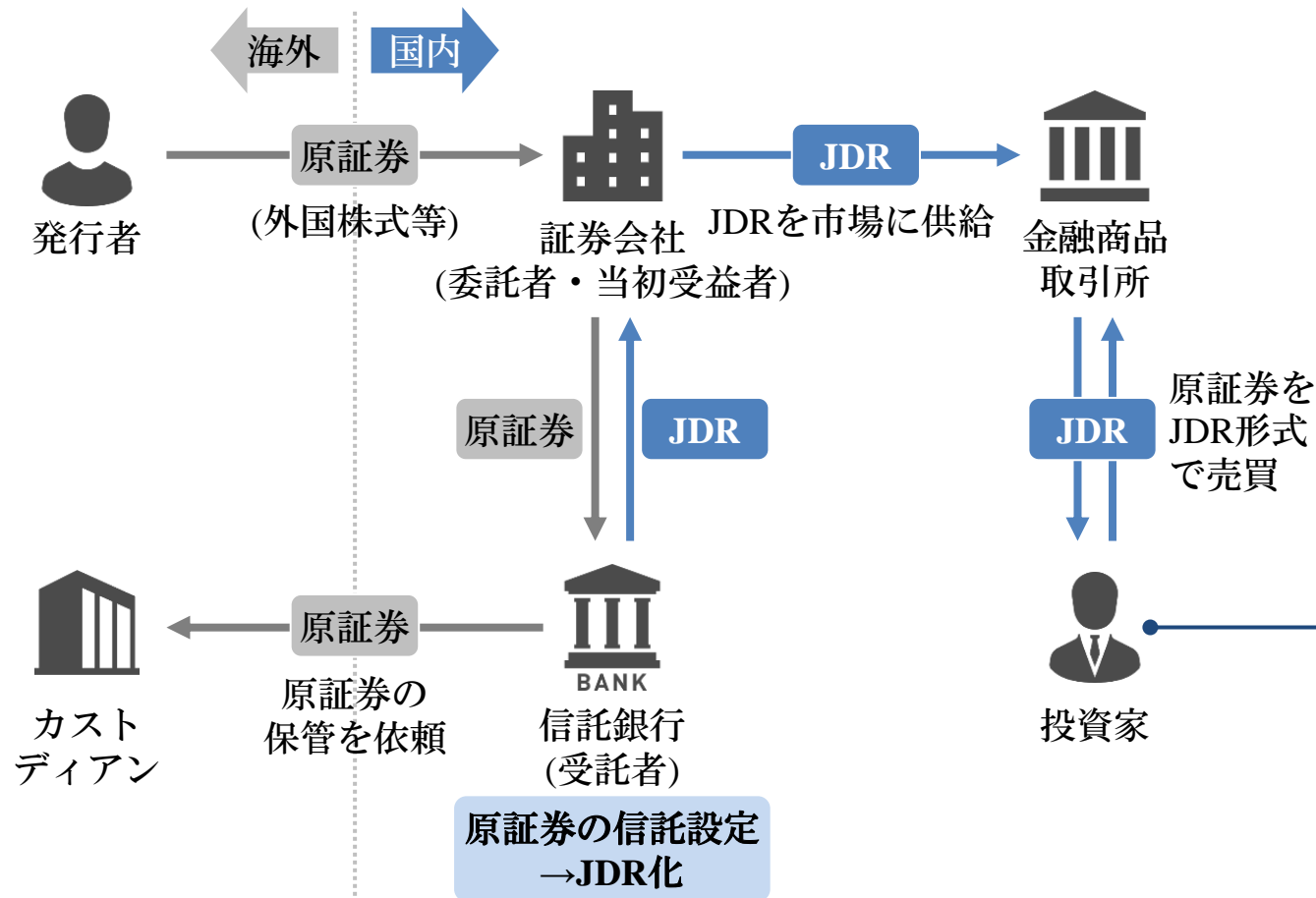
Appendix





JDR (日本型預託証券) とは

JDRの発行スキーム*



JDRのポイント

取引	<ul style="list-style-type: none">• 全国の証券会社を通じて売買可能• 特定口座の取引対象となり、外国証券取引口座の開設も不要• 日本円による決済・分配金受け取り• 税制も国内株式と同様
株主総会	<ul style="list-style-type: none">• 発行会社の株主はJDR受託者(信託銀行)となるため、JDR投資家は、株主総会には出席できないが、発行会社実施するJDR投資家説明会等で対話が可能
議決権行使	<ul style="list-style-type: none">• JDR投資家は原株式の議決権を直接行使することはできないが、JDR受託者に対して議決権の行使指図を行うことにより、間接的に議決権を行使することが可能

*日本取引所グループホームページ掲載のJDRの発行スキーム(例)より引用。 <https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/new/basic/05.html>

